



## 道路横断中の事故に注意!

令和5年中に「人対車」の交通事故で45の方が命を落とし、そのうち28人(約60%)が道路横断中の事故となります。(昼夜の内訳: 日中12人、夜間16人)



歩行者事故は夜間時間帯に多く、歩行者から車の存在を認知できていても、ドライバーからは事故の直前まで気付かないケースがあります。ドライバーだけが注意すればいいものではなく、歩行者も無理な横断をしないよう交通ルールやマナーを守らなければなりません。

### ◎横断歩道を渡る・信号を守る

「近いから、面倒だから」と横断歩道を利用しないことは危険。横断歩道がある場合は、必ず利用し、信号をしっかりと守りましょう。

### ◎左右の安全確認

夜間帯は、車のライトだけでは、車との距離感や車の速度はわかりづらいものです。

渡り始めてから車が思った以上に接近していることもありますので、左右の安全をしっかりと確認し、無理な横断はやめましょう。



### ◎反射材の活用

反射材を付けている・付けていないでは、ドライバーからの発見地点に大きな差が出ます。

夜間は車からの視認性が悪くなりますので、反射材を利用したり、明るめの服装に心掛けましょう。



### ◎加齢による身体機能等の低下の把握

加齢に伴い、歩行速度や判断能力、視力は低下します。道路を渡り切れず交通事故に遭う場合がありますので、ご自身の体力等に応じた安全な行動に努めましょう。

高齢のご家族がいる場合は、事故に遭わないよう交通安全に関する「一言」の声掛けをお願いします。



北海道交通事故死者数(3月20日現在) 11人(昨年比-8人)